

編集 後記

2022年夏は、全国的に平均気温が平年より高いとの予報がでております。昨年の夏を思い返しますと、かなり暑いうえ、マスクも着用していたことから、体感温度は気温以上でした。今年は夏季の電力需給見通しが厳しい地域もあり、節電対策をしながら熱中症対策と新型コロナウイルス感染症対策に取り組むこととなります。今年の夏も国民の健康をいかに守るかが問われる夏になりそうです。

さて、第69巻8号では、論壇、特別論文、原著、資料の計6編の論文が掲載されています。今回掲載されている論文は、いずれも興味深い内容であり、公衆衛生の研究や活動に今すぐに活用できるもの、示唆を与えてくれるものなど、多様な知見が示されています。

杉本らの論壇は、健康無関心層と健康格差の視点からポピュレーションアプローチの類型化を行い、図と具体例を用いてわかりやすく紹介されています。久保らの特別論文は、公衆衛生モニタリング・レポート委員会生活習慣病・公衆栄養グループで実施した都道府県民健康・栄養調査の実施状況に関する調査結果を報告しています。新型コロナウイルス感染症蔓延による都道府県民健康・栄養調査の実態と、住民の健康増進の推進に関する施策への影響について議論されています。

原著と資料では、松尾らは、看護師における主観的な組織公平性とワーク・エンゲイジメントとについて調査し、病院に勤務する看護師のワーク・エンゲイジメントと組織公平性に正の関連があり、組織公平性を保持、向上していく重要性を示唆しています。細谷らは、災害時の共助を意図した平常時の保健師活動の実態および実施に関連する要因を調査し、上記の保健師活動が十分に行われていない実態から、今後の保健師活動に必要な具体的内容を議論しています。佐藤らは、介護保険受給者台帳の資格喪失記録を死亡の代理変数として使用することの妥当性を評価し、受給資格喪失を死亡率そのものの推計に用いるのは偽陽性率が1割程度であるため適切ではないことを示し、アウトカム情報として重要な死亡情報として、死亡票の迅速な共有への制度整備の推進の必要性を述べています。鳩野らは、国内の新型コロナウイルス感染者の報告がされてから感染第2波までの期間において、市区町村の保健部門がパンデミックに対応して行った体制整備や取り組みを調査し、保健所設置市、一般市町村を比較しその特徴を記述しています。

本誌は会員の皆様が投稿しやすくなるよう、投稿規程を適宜確認し、必要時、見直しも行ってあります。また、論文のタイムリーな公表に向け、査読、編集プロセスは迅速に行われており、掲載決定された論文は、随時、J-STAGEにて早期公開しております。公衆衛生に関する皆様の研究や活動に関する論文のご投稿をお待ちしております。

(平野美千代)

次号予告 (第69巻・第9号)

特別論文

ウィズコロナ社会のメンタルヘルスの課題と対策
.....野村恭子, 他

原著

新型コロナウイルス感染症流行下における食支援
利用者の実態と社会経済的状況変化との関連
.....黒谷佳代, 他
地域在住高齢者における改訂版食品摂取の多様性
得点の試作と評価.....横山友里, 他

公衆衛生活動報告

コロナ禍における慢性疾患を有する前期高齢者へ
の遠隔看護による在宅療養生活支援プログラ
ム:1自治体での実施報告.....福島康子, 他